

はじめに

目次

第 1 章	地域で形成される民衆知と津波避難の関係	(松本 行真)	1
1.1	問題意識の背景		1
1.2	調査対象地の概要		3
1.3	民衆知が避難に結びつくには何が必要か		4
1.4	「減災」コミュニティ構築に向けて		13
第 2 章	避難者コミュニティの現状と課題	(松本行真・菅野瑛大)	21
2.1	問題意識の提起		21
2.2	檜葉町・富岡町調査の概要		21
2.3	住居別による実態と課題—質問紙調査から		23
2.4	避難者コミュニティの実態—聞き取り調査から		29
2.5	むすびにかえて		33
第 3 章	いわき市被災沿岸部における現状と課題	(菅野瑛大・松本行真)	39
3.1	はじめに		39
3.2	各研究対象地区の被害状況		42
3.3	各地区の復興組織とその取り組み		42
3.4	まとめと考察		50
3.5	今後の展望		52
第 4 章	避難者コミュニティにおけるリーダーの形成プロセス	(松本 行真)	57
4.1	問題意識の背景と目的		57
4.2	調査方法と回収結果		58
4.3	調査対象者の概要		60
4.4	コミュニティ関与の類型化		63
4.5	「近隣」とコミュニティ・リーダーとの関わり		73
4.6	今後の課題		77

【資料編】

資料1	インタビュー調査結果	81
資料2	『四倉町コミュニティ調査』調査票	259